



## 平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 ラオックス株式会社

コード番号 8202 URL <http://www.laox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 羅 怡文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 矢野 輝治

TEL 03-6852-8881

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	9,431	40.7	59	—	40	—	13	—
25年12月期第1四半期	6,705	87.3	△985	—	△981	—	△866	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 20百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △701百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年12月期第1四半期	0.03	—
25年12月期第1四半期	△1.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本	%
26年12月期第1四半期	15,821	—	9,200	—	9,200	58.2
25年12月期	15,299	—	9,180	—	9,180	60.0

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 9,200百万円 25年12月期 9,180百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年12月期	—	—	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—
通期	44,000	32.7	275	—	255	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループでは、連結業績における中国子会社業績の比率が高くなってきております。中国子会社においては、商習慣の違いもあり、業績予想を通期で行っているため、第2四半期累計期間の連結業績予想を行うことが困難であると判断いたしました。また、現在、構造改革実行中であり、それによる業績への影響額を具体的に予想することが困難であるため、業績予想を売上高、営業利益及び経常利益のみ行っております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	548,881,033 株	25年12月期	548,881,033 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	4,068,429 株	25年12月期	4,068,329 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	544,812,697 株	25年12月期1Q	544,813,234 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、米国経済は例年にない寒波の影響もあり一時的な経済指標の低下が見られながらも景気は緩やかな拡大を続けているものの、新興国の成長には鈍化が見られ、特に中国では個人消費の伸び悩みや企業の投資抑制など景気先行きへの懸念が高まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。その環境下でもわが国経済は、円高の緩和、株高の進行、個人消費や雇用情勢の底堅い推移などにより、景気の回復基調が続きました。

当社主要事業に係る訪日外国人観光客の動向に関しましては、桜シーズンに向けた政府の訪日旅行プロモーションや、東南アジアでの査証緩和の効果、中国などからのクルーズ船の寄港などにより、訪日外国人観光客数は、1月から3月の3ヶ月で287万人(前年同期比27.5%増)、3月単月では105万人(単月で過去最高記録)となりました。当社主要顧客である中国人訪日客数は、個人旅行、団体旅行ともに拡大傾向にあり、昨年9月から7か月連続で過去最高を記録しております。

このような状況の中、当社グループはアジア全体をマーケットと捉え、日本や中国などにおいて、各地の市場ニーズに応じた幅広い商品の販売に力を入れております。

「国内店舗事業」においては、1月に札幌市内に、3月には沖縄国際通りに新店を出店、増加する訪日観光客の方々への更なるサービスの向上、品質の高い商品の拡充を実施、「中国出店事業」においては、店舗運営の効率化に注力し、「貿易仲介事業」においては、収益力向上にむけて事業の構造改革に取り組むなど、各事業のステージに沿って経営資源の投入を図り、利益率の向上に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高94億31百万円(前年同期は67億5百万円、40.7%増)、営業利益59百万円(前年同期は9億85百万円の損失)、経常利益40百万円(前年同期は9億81百万円の損失)、四半期純利益13百万円(前年同期は8億66百万円の損失)となり、黒字基調となってまいりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次の通りです。

#### ① 国内店舗事業

当事業部門におきましては、主要顧客である中国人観光客が本格的に回復し始めたこと、積極的な来店誘致施策の実施などにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は57億74百万円(前年同期は18億7百万円、219.5%増)、営業利益は5億95百万円(前年同期は1億38百万円の損失)と前年同期比大幅な増収増益となりました。

#### ② 中国出店事業

当事業部門におきましては、経費削減の効果はみられたものの、中国国内の個人消費減速の影響や、店舗の大幅な改革中であることなどにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は31億66百万円(前年同期は39億3百万円、18.9%減)、営業損失は3億5百万円(前年同期は6億33百万円の損失)となりました。

#### ③ 貿易仲介事業

当事業部門におきましては、品質管理の徹底や物流体制の再構築など、事業の構造改革に取り組んでおり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、3億6百万円(前年同期は8億58百万円、64.3%減)営業損失は54百万円(前年同期は1億6百万円の損失)となりました。

#### ④ その他事業

当事業部門におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1億98百万円(前年同期は1億96百万円、1.0%増)営業利益は12百万円(前年同期は36百万円、66.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、158億21百万円(前連結会計年度末152億99百万円)となりました。

総資産の増加は、主に、商品及び製品が6億94百万円増加したことによるものであります。

#### ② 負債

負債合計は、66億21百万円(前連結会計年度末61億19百万円)となりました。

負債の増加は、主に、短期借入金2億円、前受金が4億81百万円増加したことによるものであります。

#### ③ 純資産

純資産合計は、92億0百万円(前連結会計年度末91億80百万円)となりました。

純資産の増加は、主に、為替換算調整勘定が6百万円、利益剰余金が13百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月14日の「平成25年12月期 決算短信[日本基準](連結)」で公表致しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当社及び一部の連結子会社については当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び一部の連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,410,758	2,224,652
受取手形及び売掛金	1,670,477	1,840,111
商品及び製品	2,479,855	3,174,394
原材料及び貯蔵品	4,082	3,711
未収入金	609,207	487,812
前渡金	1,045,634	1,124,270
1年内回収予定の差入保証金	142,695	129,555
前払費用	767,674	700,790
その他	245,777	202,415
貸倒引当金	△3,110	△3,957
流動資産合計	9,373,052	9,883,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,441,439	1,491,636
車両運搬具(純額)	4,784	4,241
工具、器具及び備品(純額)	745,239	654,896
土地	6,443	6,443
リース資産(純額)	67,557	61,264
建設仮勘定	1,969	5,676
有形固定資産合計	2,267,433	2,224,158
無形固定資産		
ソフトウェア	32,481	27,747
リース資産	9,070	8,086
その他	2,220	2,154
無形固定資産合計	43,772	37,987
投資その他の資産		
投資有価証券	13,580	12,537
繰延税金資産	282,810	281,443
長期貸付金	120,754	120,754
敷金及び保証金	3,460,474	3,532,232
その他	328,194	324,828
貸倒引当金	△599,517	△601,368
投資その他の資産合計	3,606,297	3,670,428
固定資産合計	5,917,503	5,932,575
繰延資産		
株式交付費	8,770	5,011
繰延資産合計	8,770	5,011
資産合計	15,299,326	15,821,343

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,820,189	2,734,548
短期借入金	-	200,000
未払金	1,431,334	1,423,372
未払費用	201,532	312,180
前受金	100,154	582,110
リース債務	24,194	24,529
未払法人税等	58,662	56,150
賞与引当金	27,967	23,091
ポイント引当金	7,747	10,560
その他	77,174	39,822
流動負債合計	4,748,956	5,406,365
固定負債		
長期預り保証金	505,113	477,061
退職給付引当金	209,748	222,753
リース債務	52,433	46,174
訴訟損失引当金	165,058	28,356
資産除去債務	181,643	182,462
繰延税金負債	103,242	103,460
その他	152,894	154,475
固定負債合計	1,370,135	1,214,744
負債合計	6,119,092	6,621,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,950,002	7,950,002
資本剰余金	7,268,961	7,268,961
利益剰余金	△6,068,713	△6,054,780
自己株式	△426,008	△426,013
株主資本合計	8,724,241	8,738,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,366	4,695
為替換算調整勘定	450,626	457,368
その他の包括利益累計額合計	455,992	462,064
少数株主持分	-	-
純資産合計	9,180,234	9,200,232
負債純資産合計	15,299,326	15,821,343



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	6,705,223	9,431,436
売上原価	5,723,102	6,947,819
売上総利益	982,121	2,483,616
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	170,685	39,622
販売手数料	101,540	693,477
運搬費	72,868	80,406
減価償却費	96,359	126,003
給料及び手当	403,994	421,077
法定福利費	65,326	71,226
賞与	-	9,831
賞与引当金繰入額	-	23,091
退職給付費用	12,669	18,256
地代家賃	645,464	591,237
賃借料	6,563	6,761
その他	392,407	342,655
販売費及び一般管理費合計	1,967,881	2,423,647
営業利益又は営業損失(△)	△985,759	59,968
営業外収益		
受取利息	7,286	2,814
仕入割引	2,090	5,529
その他	10,433	3,202
営業外収益合計	19,810	11,545
営業外費用		
支払利息	815	2,282
売上割引	1,207	783
株式交付費償却	4,688	3,758
支払保証料	-	7,500
為替差損	5,232	12,218
その他	3,681	4,875
営業外費用合計	15,624	31,420
経常利益又は経常損失(△)	△981,574	40,094
特別利益		
固定資産売却益	-	185
特別利益合計	-	185
特別損失		
訴訟関連損失	4,770	-
特別損失合計	4,770	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△986,344	40,280
法人税、住民税及び事業税	3,754	33,361
法人税等調整額	△123,641	△7,013
法人税等合計	△119,887	26,348
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△866,456	13,932
少数株主利益又は少数株主損失(△)	-	-
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△866,456	13,932

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△866,456	13,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,104	△671
為替換算調整勘定	163,995	6,742
その他の包括利益合計	165,099	6,071
四半期包括利益	△701,356	20,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△701,356	20,003
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内店舗 事業	中国出店 事業	貿易仲介 事業	その他 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,756,626	3,903,097	850,298	195,201	6,705,223	—	6,705,223
セグメント間の 内部売上高又は振替高	50,882	—	8,152	1,110	60,144	△60,144	—
計	1,807,509	3,903,097	858,450	196,311	6,765,368	△60,144	6,705,223
セグメント利益又は損失 (△)	△138,358	△633,468	△106,916	36,727	△842,016	△143,743	△985,759

(注) 1 セグメント利益の調整額△143,743千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内店舗 事業	中国出店 事業	貿易仲介 事業	その他 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	5,774,246	3,166,704	293,421	197,064	9,431,436	—	9,431,436
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	13,022	1,110	14,133	△14,133	—
計	5,774,246	3,166,704	306,444	198,174	9,445,569	△14,133	9,431,436
セグメント利益又は損失 (△)	595,947	△305,777	△54,174	12,559	248,555	△188,586	59,968

(注) 1 セグメント利益の調整額△188,586千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。